

## 心理学部紀要第3巻の発行にあたり

心理学部長 岩田 昇

2015年4月、広島国際大学に心理学部が開設されました。それに伴い、今年度の学部紀要からは、名称を『広島国際大学心理学部紀要』と改め発刊することにいたしました。心理学部では『社会・生活に活かせる心理学』をモットーに、これまで以上に演習・実習に力を入れ、3年次からは学外における臨床・健康・福祉・産業社会等の現場での実習を必修化しました。

このような実学志向を打ち出して心理学部がスタートした年に、心理学界にとっては非常に大きな出来事がありました。ご存じのとおり、昨年9月に可決された公認心理師法の制定です。その趣旨に謳われている『国民のこころの健康の保持増進に寄与する』という公認心理師の使命は、広島国際大学の建学の精神にある『世のため、人のために貢献する専門職業人の輩出』とまさに整合的です。我々の学部・大学院における心理学の学びが、広く国民のこころの健康や社会・産業現場の活性化につながっていくことを願ってやみません。

一方、我々大学教員に求められる使命は、このような教育の質の向上と学術研究の推進です。本紀要は、非常に幅広い専門領域を有する我が心理学部の教員スタッフの社会発信の媒体の一つです。グローバル化が進む日本で、学術領域でも国際発信が重視されておりますが、それは専門家業界の価値基準です。日頃の学術研究の知見を広く地域に還元する媒体として、すべての方々に見ていただけるよう本紀要に掲載する全論文のリポジトリ化を図りました。

皆さまにお読みいただき、感想やご意見などを、執筆した教員にお寄せ下さい。本紀要が様々な方々とのネットワーク作りやいろんな形の協同・協働のきっかけとなることを願っております。